



古高だより

平成 29 年度第 1 号 平成 29 年 6 月 9 日発行 宮城県古川高等学校 <http://furuko.sakura.ne.jp>

創立 120 周年 さらなる飛躍へ！

5 月 3 日（水）,古川高校は創立 120 周年を迎えました。卒業生は 25,939 人,各界で活躍しています。本校はこれまで,一段高いレベルでの文武両道を実践しています。これからの,120 周年の歴史と伝統を誇りとして,さらなる飛躍を目指して挑戦し続けます。



120 周年を祝う横断幕が張られた校門前

校訓
質実剛健
自主自立
学問尊重

新任式・始業式・入学式～平成 29 年度スタート！

4 月 7 日(金)午前は新しく校長先生と 9 名の先生方をお迎えし始業式が行われました。午後には 240 名のフレッシュな新入生を迎え,入学式が挙行されました。新入生代表の千葉美和さん(古川南中出身)は,「古高生の自覚と誇りを胸に,常に高みを目指し自分を成長させられる,かけがえのない三年間にします」と力強く宣誓しました。今年度 120 周年を迎えた古高のさらなる飛躍を予感させる厳粛な式でした。



対面式・応援団入団式

今年も 1 年生が入学して間もなく行われた対面式。目玉はなんとと言っても,部活動紹介!!とても楽しく工夫がこらされた部活動紹介で,1 年生はさぞ入る部活を迷ったことでしょう。2・3 年生が 1 年生を迎え入れるためにと団結したからこそ,素晴らしい式にすることができました。(2 年 後藤有樹 鹿島台中出身より)

対面式では,学校行事に全力で取り組み,勉強や部活動にも力を入れ,先生方や先輩方のご指導のもと,新しい仲間と共に,高校生活を充実させたいと述べました。初めての経験だったので,緊張しましたが,古高生としての自覚を再認識できる貴重な機会を頂き,ありがとうございました。対面式からあつという間に一ヶ月半が経ち,時の流れの速さを感じました。しかし時間は戻ってこないで,日々を大切に邁進していきたいです。(1 年 齋藤里宇 松山中出身より)



壮行式

各部部长の決意表明は,それぞれの戦いへの強い覚悟と「勝つ」という気持ちが前面に表れており,引き締まった壮行式となりました。(2 年 今野壮琉 古川北中出身より)



第 58 回藤紫定期戦にて古高三連覇!

今年,我々は第五十八回目となる定期戦で三連覇を果たした。インフルエンザの流行などで予定が狂い,最後まで余裕のなかった応援も,応援団を中心に古高生全員が一丸となり,例年以上の声と迫力を背中に感じた。今年の成果はただの勝利ではなく,来年,再来年への期待を感じさせてくれるものであった。我々がここまで守ってきた伝統をこれからも守り続けていってくれること,この勝利を繋いでくれることを期待し,私の挨拶とする。(応援団長 3 年 大友太一 田尻中出身より)



三連覇を果たし笑顔の古高生

平成 28 年度卒業生進路先

I 国公立大学	合格数	II 公立大学	合格数	III 大学校	合格数	V 短期大学・専門学校	合格数	VII 過卒者	合格数
北海道教育大学	3	はこだて未来大学	1	東北職能大学校	1	山形県米沢女子短大	4	弘前大学	1
弘前大学	3	札幌市立大学	1	IV 私立大学	合格数	大月市立大月短大	1	東北大学	3
岩手大学	7	釧路公立大学	1	東北学院大学	76	聖和学園短大	1	宮城教育大学	2
東北大学	3	青森県立保健大学	1	東北福祉大学	46	仙台青葉学院短大	3	秋田大学	1
宮城教育大学	10	青森公立大学	2	東北工業大学	24	仙台医療センター看	3	山形大学	2
秋田大学	1	岩手県立大学	1	宮城学院女子大学	16	東北労災看護専門	2	福島大学	1
山形大学	8	宮城大学	6	東北医科薬科大学	7	石巻赤十字看護	1	電気通信大学	1
福島大学	5	茨城県立医療大学	1	慶應義塾大学	1	気仙沼市立病院看護	2	静岡大学	1
茨城大学	1	高崎経済大学	5	東京理科大学	1	宮城歯科衛生士学院	1	岡山大学	1
宇都宮大学	3	長岡造形大学	1	法政大学	2	VI 就職		はこだて未来大学	1
埼玉大学	2	山梨県立大学	1	明治大学	1	七十七銀行	1	宮城大学	3
東京大学	1	都留文科大学	1	早稲田大学	3	国家一般職	1		
新潟大学	4	公立大学合計	22	同志社大学	3	宮城県	1		
九州大学	1	国公立大学 計	74	立命館大学	4	大崎市	1		
国立大学合計	52					美里町	1		

現役で東京大学理科一類に合格しました。現役で 74 名、現浪あわせて東北大学 6 名、九州大学 1 名を含む 91 名が国公立大学に合格するなど善戦しました。難関私大に現役で 12 名、現浪あわせて 17 名が合格しています。文武両道を実践し、入学後よく努力した結果が現れています。

大崎地区総体で、男子ソフトテニス部、男子バドミントン部が大活躍!!

男子バドミントン部

【男子シングルス・ダブルス優勝】

「バド部を無敵に」

まず、これまで応援して下さったみなさんのおかげで優勝できました。ありがとうございます。3 年生の最後の大会である県総体へ、良い流れを作れた結果だと思います。しかし、団体戦の優勝は逃してしまいましたし、部全体のレベルはまだ低いです。6 月からは 2 年生中心の新体制がスタートします。私が部長となり、全体を強化して部員全員を「地区総体じゃ他校には負けねえよ」くらいに成長させます。応援をお願いします。

(2 年 蘇武大晟 栗駒中出身より)

【男子ダブルス優勝】

「皆と一緒に」

私は高校からバドミントンを始めました。そんな私でも優勝できるくらい成長することができました。それにはペアや周りの人達の存在が必要不可欠でした。大会の中、緊張している私を支えてくれるパートナー、応援で勇気をくれる仲間達があったから今まで頑張ってきた。これからもそんな仲間達と一緒に頑張っていきたいです。

(2 年 大窪健 古川中出身より)

男子ソフトテニス部

【団体優勝】

「羨望」

大崎地区総体団体決勝、組み合わせは古川 A と古川 B の対決、自分のこれまでの部活動の中では初めての地区での同校決勝、この対決を見られたことをとても嬉しく思いました。でもそれ以上にその場でプレーをしていた生徒たちが羨ましく見えてしまいました。決勝の舞台に立っている選手がとても輝いて見えました。あの場に立てたらと何回も思いました。でも県総体は一つでも多く勝って欲しいです。なので力になれるような応援をしたいと思います。(部長 3 年 佐藤直希 小牛田中出身より)

【個人優勝】

「通過点の地区総体個人戦優勝」

インターハイ出場を目標に練習をしてきたので、今回の優勝は一つの通過点と考えています。(2 年 伊藤文弥 古川東中出身より)

今回の地区総体は、地区新人、地区インドアに続いて三連覇がかかっていたので負けてはならない大会でした。当日は自分たちの力を出すことができ優勝ができました。私も伊藤同様インターハイ出場が目標だったので、通過点の一つとして考え、今後の練習に励みたいです。

(2 年 千坂亮智 古川東中出身より)

